

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 増田 朝子

開催月日	令和5年1月23日(月)			
開催時間	13:15~14:45			
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号			
主催者	全国市町村国際文化研究所(JIAM)			
研修会等の名称	令和4年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」 ベーシックサービス宣言 ~分かち合いが変える日本社会~			
講師等の氏名等	慶応義塾大学経済学部 教授 井手 栄策氏			
内容・結果等	・ベーシックサービスとは…誰もが生存、生活のために必要とする(必要とする)ベーシックなサービス。 何がベーシックサービスなのか…理論ではなく対話で決まる。			
	・ベーシックサービスは、決められたサービスではなく、人間に不可欠なニーズを追い求める(終わりなき対話)である。			
	・尊厳を平等に…(ベーシックサービス)+(品位ある最低保障) →安心して生きていける社会、恥ずかしいと思われない社会			
	・(連帯の社会)へ…痛みと希望を分かち合う			
	特別定額給付金に学ぶ…特別定額給付金=13兆円(消費税の5%分=幼保無償化14~5年分の金額)			
	13兆円があればできたこと…① 住宅手当の創設=月額2万円を全体の2割に給付、350万人の失業者に月額5万円を給付 ② 大学・介護・障がい者の無償化+医療費の自己負担を2割へ			
	・ベーシックサービス革命 ① 格差の是正は目的から結果に ② 成長はついてくる ③ 信頼した方が得な社会 ④ 支出が財政を健全に ⑤(悲しみの連鎖)を絶つ勇気を ⑥ 理不尽への怒りと終わりなき対話へ			
	【感想】ベーシックサービスとあまり聞きなれない言葉で、内容に難しさを感じた。			
	〈救済〉ではなく〈保障〉とは、誰かを助けるのではなくすべての人たちへの保障を人々は求めている。			
	みんなが幸福になる社会は、痛みを分かち合うことであり、そのためには理論だけではなく、対話で決まり、人間に不可欠なニーズを追い求める(終わりなき対話)であるという言葉に共感した。			
	いずれも財源は増税という考え方に同意はできないが、これから日本が世界に取り残されないため、地方の格差をなくすためには、終わりなき対話が大事だということが改めて理解できた。			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		研修費・宿泊費	全国市町村国際文化研究所	6,900
旅費			37,860	
振込手数料		佐賀銀行	550	
合計			45,310	

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 増田 朝子

開催月日	令和5年1月23日(月)		
開催時間	15:05~16:35		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研究所(JIAM)		
研修会等の名称	令和4年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」 人一人の個性を尊重する「あおいけあ流」の介護の世界		
講師等の氏名等	株式会社 あおいけあ 代表取締役 加藤 忠相氏		
内容・結果等	・(介護保険) 第二条 第二項…前項の保険給付は、要介護状態等の軽減又は悪化に資するよう行われるとともに、医療と連携に十分配慮して行わなければならない。		
	第四項…第一項の保険給付の内容及び水準は、被保険者が要介護状態となった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮されなければならない。		
	1963年「老人福祉法」施行…「療養上の世話」 → 2000年「介護保険法」…「自立支援」 →		
	2003年「高齢者介護研究会」…「尊厳を支える」 → 2010年「地域包括ケア研究会」…		
	「地域包括ケア」 (宮島渡氏作成資料より抜粋)		
	・記憶の種類から考えるケアのありかた		
	①意味記憶 ②エピソード記憶 ③手続き記憶 ④プライミング(呼び水)記憶		
	→充実した時間を過ごしている = 手続き記憶 = 自分らしさの源泉		
	・おたがいさんケア=自立支援を促す		
	【感想】講師の加藤氏は、大学卒業後、横浜の特別養護老人ホームに就職されたが、自分の目指す介護とギャップを感じ、2001年に会社を設立されたとのこと。おたがいさんケア=自立支援を促すこのことが、スタッフの業務から利用者の社会参加へつながり利用者が幸福感を感じておられる。まずは、「その人」のことを知り、尊厳を支えていくことの大切さを学んだ。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	研修費		様式3-1に同じ
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和5年1月24日(火)			
開催時間	9:00~10:30			
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号			
主催者	全国市町村国際文化研究所(JIAM)			
研修会等の名称	令和4年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」 ヤングケアラー支援の課題と支援のあり方			
講師等の氏名等	日本女子大学名誉教授 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事 堀越 栄子氏			
内容・結果等	・ヤングケアラーとは…家族にケアをする人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。			
	ケアラーの存在率…小6(6.5%:15人に1人) 中2(5.7%:18人に1人) 全日制高校2年(4.1%:24人に1人)			
	定時制高校2年(8.5%:12人に1人)通信制高校(11.1%:9人に1人)大学3年(6.2%:16人に1人)			
	・誰を…① 幼いきょうだいのケア ② 父母 ③ 祖父母のケア			
	・ケアのためにやりたくてもできないこと…①自分の時間が取れない ②友だちと遊ぶことができない			
	③勉強をする時間がない ④眠る時間が足りない ⑤進路の変更を考えざるを得ない ⑥特にない			
	必要な社会的支援…①ケアラー・ヤングケアラー支援の方針を定める ②社会の認識を広める			
	③本人に「助けてもらう自立」についてと、人生の選択肢を持ってもいいことを伝える			
	④社会全体で支援する枠組みと支援策を立案する			
	ヤングケアラー支援施策の4つの柱…①早期に発見し、アセスメントを行い支援する ②学びの機会とその結果を改善する ③支援ニーズに対応するサービスの開発とそれへのアクセスを保障する ④自立して社会生活を送れるよう支援する			
	【感想】今回の研修の中で一番興味深い講義であり、わかりやすい内容だった。ヤングケアラー支援の課題は、見過ごされやすく(見ようとしないと見えない存在、見ようとしても見えにくい存在)その理由として、家族のことは家族でしなればという思い込み、家族への忠誠心、家族のことを隠したい気持ち、ヤングケアラーという自覚がないとされる。嬉野市でも支援施策として、			
	社旗的認知度の向上、早期発見・把握につながるように施策を提案をしていきたい。			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		会費		様式3-1に同じ
旅費				
宿泊費				
合計				

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田 朝子

開催月日	令和5年1月24日(火)		
開催時間	10:50~12:20		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研究所(JIAM)		
研修会等の名称	令和4年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」 ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割		
講師等の氏名等	特定営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事 池上 正樹氏		
内容・結果等	ひきこもりとは? 病名ではなく、他者との関係を遮断し、発信しないのが特徴		
	「人が怖い」「人を頼れない」家の中だけが安心できる「居場所」で生存領域になっている		
	ひきこもる行為は自死ではなく、生き延びようとしている証し→生きるエネルギー-や生きようとする意欲が枯渇している...全国推定:115万人		
	外部に相談したことがあるか?...当事者(38%) 家族(55%)		
	家族支援の重要性...まず動き出すのは家族→安心して話ができる受け皿をつくる		
	→相談の最優先は家庭の中を安心できる空間に(家族関係の改善)		
	①それぞれの意思を尊重し合える(お互いに干渉しない) ②それぞれのペースを大事にする ③必ず逃げ道がある(追いつめない、追いつめられない) ④1日1日楽しみがある(生きる喜び、いやなことは忘れる)→家族会		
	みんなが当事者、どの年代でも何歳からでも誰もが「ひきこもり」状態になり得る→		
	ひきこもりの人たちが生きやすい社会は、皆が生きやすい社会		
	【感想】講師の方の体験談も含め、みんなが当事者、どの年代でも何歳からでも誰もが「ひきこもり」状態になり得るとの講師の言葉に衝撃を受けた。		
	ひきこもる生き方も多様な社会の選択肢の一つとして、誰かが「自分のままでいいんだよ」と言ってくれたら...、そんな内面に寄り添えるやさしい人材、受け皿作りが大事であり、周囲の理解や家族会の存在を強く感じた。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会費			様式3-1に同じ
旅費			
宿泊費			
合計			